

次に、7番議員の一般質問を許します。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） 7番腰山良悦です。最後になりましたが、通告によりまして質問させていただきます。

1問目であります。町民の生活支援についてお尋ねします。

この質問が、今議会に提案され可決された第48号補正予算、電力・ガス・食料品等高騰重点支援地方交付金事業と前後するわけではありますが、要旨に基づき質問させていただきます。

今年に入り食料品・日用品等が軒並み高騰しており、また、今月からは電気料金が大幅な値上げになりました。ほとんどの人が影響を受けていると思います。国から今年度は通常の臨時交付金のほかに、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金があると伺っております。今後、国にどのような実施計画を提出し、町民の生活支援を図るのか伺います。

2問目であります。フォトコンテストの実施について伺います。

コロナ感染症も5類に移行し、旅行する人も以前に戻りつつあります。これを機会に町を積極的に発信し、観光振興等を図るのにネット等の媒体を利用され、フォトコンテストを町主催でやってみてはどうかと思うが、当局の考えを伺います。

以上、よろしく申し上げます。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの7番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 腰山議員のご質問にお答えします。

はじめに、「町民の生活支援について」であります。

国では、電力・ガスをはじめとするエネルギーや食料品等の物価が高騰し、生活者や事業者が影響を受けていることから、必要な支援を実施できるよう「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」として、予算が措置されたところであります。

このたび町へ交付される交付金につきましては、これまでに実施してきました新型コロナウイルス感染症対策ではなく、全て「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」として交付されることとなっております。

交付金の内訳としましては、「低所得世帯支援枠」と「推奨事業メニュー」となっており、「低所得世帯支援枠」につきましては、物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への負担の軽減を図る事業であり、また、「推奨事業メニュー」につきましては、エネル

ギーや食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し支援を行う事業で、効果的と考えられる推奨事業メニューが提示されております。

今議会の一般会計補正予算には、住民税非課税世帯に3万円を支援する事業を計上しているほか、プレミアム付商品券発行事業補助金や稲作農家への肥料価格高騰対策、しいたけ農家への電気料金高騰対策に加え、漁業者への燃油高騰対策などを計上しており、これらの事業を実施計画として取りまとめ、国へ提出し、町民の生活支援と事業者支援に努めてまいります。

なお、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」とは別の財源で、低所得の子育て世帯に対して、児童1人当たり5万円を支援する子育て世帯生活支援特別給付金事業を計上しております。

次に、フォトコンテストの実施についてであります。町では平成25年度に、白神山地世界遺産登録20周年記念事業として「八峰八景写真コンテスト」を実施しております。町の自然風景や伝統行事に加え、農林水産業の営みや町に暮らす人々の生活など、町の魅力ある場面を収めた写真を募集し、応募していただいた作品をポスターやパンフレットに使用するなど、観光振興に繋げてまいりました。

また、現在、ハタハタ館を会場に「須藤昌人3H写真展」が開催されており、半世紀前の八森の様子を写真で紹介し、好評であると聞いております。

こうした状況や、コロナの5類移行後における八峰町への旅行者も増えてきていることも踏まえ、フォトコンテストを行うとなれば、撮影のために町を訪れていただく人の流れも期待できるものと考えております。

このため、趣旨や活用のあり方を観光協会等の関係機関と協議しながら、コンテスト開催に向けた検討を進めてまいります。

以上であります。

○議長（皆川鉄也君） 7番議員、1問目の町民の生活支援について、再質問ありませんか。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） 今回のこの事業なんですが、交付金の事業なんですが、私の考えとしてはですね、まず何と申しますか、価格高騰支援交付金ということですので、本来であれば確かに農家、それから漁家、それから事業を営んでいるそういうところの支援ももちろん必要なんですが、この電気・食料品となるとですね、一般の人と申しますか、それに、その支援を受けられない一般の一般家庭ですかね、サラリーマン家庭と申しま

すか、そういう人方へは一つも何もそういう支援がないような気がするんですね。確かに推奨メニューということで今回それを考えたと思いますが、それ以外にもやはり町民にとって有効な支援であれば、それにこだわらずに全部の町民に行き渡るようなそういう支援をしてほしかったとっております。ただ町としてそういう話し合いする機会がなかったものですので、結局、今回は何もお願いするといいますか、できなかったわけなんですけど、何かこの後またあるような、はっきりはしないんですけども、そういう支援があるような話もあります。そういうことで、今後またそういうのは、国の支援がありましたら、是非とも町民の今回恩恵を受けられない皆さんのそういう支援をして、そういう考えを、支援の考え方をさせていただければ幸いに思いますが、どうでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの7番議員の再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 今回の国からの交付金につきましては、一般向けとしてはプレミアム付商品券事業、これについては一般の方々もご活用できるというふうに考えております。で、新たな更なる国からの交付金という情報は、まだ我々もこうつかんではないんですけども、もし仮にそういったものがあれば、また改めてどういったことで使えるのかというところも踏まえてですね、しっかりと検討していきたいというふうに考えております。

○議長（皆川鉄也君） 7番議員、ほかに再質問ありますか。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） 今こんなことを決まったことを言うのもなんですけれども、自分も商売やっておりますですね、プレミアム商品券なんですけど、これは確かに非常に良いあれだと思います。消費喚起といいますか、そういう有効な手段であると思います。それで当初はですね、これ20%のプレミアム率で、5,000万円の販売額であったと思います。令和2年ですかね、まではね。それでですね、その時は財源は一般財源で全部賄っておったようです。結局、コロナがなかったということで、まずね、一般財源で当局は、八峰町は、その何とといいますか、よその市町村より早くそういう事業をやったわけなんですけれども、今回ですね、これを何とといいますか、一般財源から全部持ち出してですね、そしてその浮いた分ですね、まあ同じようなことなんですけれども、それで生活者の支援を、一般住民の支援もやってもよかったのではないかなと、今、私は思っておりますが、どんなものでしょうかといいますか、プレミアム商品券、一般財源から全部出していくのはやはり無理な相談ですか。

- 議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。
- 町長（堀内満也君） 今回ですね、この国の交付金を全部こう充当できずにですね、不足分を一般財源で充当しております。で、一般財源と、その交付金を合わせて今回ご提案したところでございますので、まあ全てって言われるよりはですね、やはりこういった有効な交付金を使ってやった方が、まあ町の財政としても非常に助かるというところで、今回こういった形でご提案しているところでございます。

○議長（皆川鉄也君） 7番議員、ほかに1問目の再質問ありませんか。

○7番（腰山良悦君） ありません。

○議長（皆川鉄也君） 2問目の再質問ございませんか。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） 以前にフォトコンテストをやったということ、ちょっと私すっかり忘れておりました、今回また提案したわけなんです、確かにいろんなイベントをやっていますね人を集める、これもまた確かに必要なんですが、町を知ってもらうということがやはり一番の、何と申しますか、観光客に来ていただくためにはですね、それが前提ではないかなと思います。

それでですね、そのコンテストをやることによって、いろんな人が八峰町に注目を集めると申しますか、そしてまた、それによってまず来ていただいて、そしてその後またそれを利用して、先ほど町長も言いましたようにポスターとか、それからパンフレットか、そういうので利用したり、まあそれ以外にまたいろんな展示会やったりとか何かそういう利用方法もあると思いますが、いずれやはりもう少し力を入れてやってみてはと私は考えております。何かさっき町長、検討してみますということで前向きの答弁でしたので安心しておりますけれども、もう一度重ねてそのあれを、町長の気持ちをお聞かせください。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） いずれ観光協会等としっかりと連携してですね、開催できるように取り組んでまいりたいというふうに考えております。

○議長（皆川鉄也君） 7番議員、ほかに2問目の再質問ありませんか。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） これは再質問とは言えないんですが、いや言えないのが再質問ってあれですけども、実は二、三日前ですけども、浜へ行ったんですよ。そしたらですね、若い女性が2人おりました。海辺に立っておりました。海の方眺めてね。そして立派な望遠レンズのカメラをね、それぞれ持っておりました。そして声掛けたわけなんです、

何をしてるんですかと、まずね声掛けたんですけれども、ちょっと掛けづらかったんですけれども、まず声掛けました。そしたら、何か海鳥ですか、という話なんですよ。海鳥の生態を、野鳥の生態を今写しにきてると。それで私も野鳥というのはカモメだべかなと思ったんですが、青い鳥で、ちょっと待ってください。何かさ控えてあったけど何であつたかな、すみません、ちょっと……すみません、どうも。イソヒヨドリだかという鳥だそうです。それが何かその飛来してきて浜辺にいます。それを今撮りにきたということですね。それで私は地元にてそういうのは全然分からないんですね。それで、どこから来たんですかと聞いたら、青森から2時間かけて来たよ、というような話してるんですよ。そして、いやまず岩館にばかりいるのかどうかそれは分かりませんが、まだその津軽の方、深浦でもね、そっちの方でもいるんじゃないかと、そういう話したら、まずはっきりしたあれはね、返事はもらえなかったんですが、海の話したんですね。岩館の海はすごくきれいだよ。いい海だよ、という話してあったんですよ。そして、私また、何ていいますか、県境から深浦の方へかけてね、そっちの海が俺はきれいじゃないかという話したんですけれども、いやそうでないと。岩館の海がきれいだよ。八森の海がきれいだよという話してあったんですよ。いやあ、そんなものかなと思ってね。それともう一つは、空、空がきれいだよ。いやあ、空もきれいで、何ていいますか、その観察といえますか、その見るね、カメラを通して見るそういう人方のあれっていうのは違うのかなと思ってね、そして夕日ももちろんきれいだよ。この夕日については、結構、道路を走ってる車が止まって、そして夕日を眺めてると、そういう光景はよく見かけることはありますね。あと、こういうもし写真のあれ、コンテストをやるようであれば、あなた方は応募しますかと。そして、それをどう思いますかというように話を聞いたんですよ。そしたら、いやあ、いいですねって。是非とも参加させてくださいというような話しておりました。

だから私は、やはりそういうマニアといえますか、たくさんいると思います。いろんな白神山地であれ、あるいは鉄道、五能線であれ。五能線の場合は特に小入川からの写真あれする人がたくさんおられます。年中通しておられます。そういうことで、やはりそういう人方を集めてる、来てもらって、そして地元を知ってもらって、そして発信してもらおうと、そういうあれで是非とも力を入れて頑張っていたら、是非とも実行できるように頑張ってください。よろしくお願ひします。

以上、終わります。

- 議長（皆川鉄也君） 答弁はいいですね。
- 7番（腰山良悦君） いいです、はい。
- 議長（皆川鉄也君） これで7番議員の一般質問を終わります。